

特集 | 1

私たちの“将来の夢”の 実現に向けて

大和ハウスグループ創業100周年に向け、
創業者の精神を継承し、これからの当社グループの
羅針盤となる“将来の夢”を策定いたしました。
この“将来の夢”は、「2055年に私たちが創り出したい社会」と
「大和ハウスグループの果たすべき役割」を示しており、
この実現に向けて当社グループは前進していきます。

私たちの“将来の夢”
生きる喜びを、未来の景色に。

描く社会と私たちの役割

生きる喜びを分かち合える
世界の実現に向けて、
再生と循環の社会インフラと
生活文化を創造する



1955 | “夢”のはじまり

“将来の夢”が 人や企業を成長させる

創業者 石橋信夫は「“将来の夢”を見ることこそが、人や
企業を成長させる」と語り続けました。

私たちは創業時から“将来の夢”の実現に向けて、ステー
クホルダーと共に取り組んできました。その想いは、今もな
お当社グループの“志”として受け継がれています。



2021 | これから向かう“夢”を設定

“将来の夢”プロジェクトの 議論を中期経営計画に反映

2021年度、私たちが100周年と
なる2055年に創り出したい社会を
役職員および社外のステークホル
ダーに意見を聞き、定義しました。

“将来の夢”プロジェクトでの議論
は、第7次中期経営計画に引き継ぎ、
マテリアリティ（重要課題）の特定と
その実践を通して、“将来の夢”の実
現に取り組んでいきます。

グローバル化

地域社会の再生

サーキュラーエコノミー
&カーボンニュートラル

ガバナンス

デジタル変革

DE&I*

社会的価値



「再生」と「循環」の
社会インフラと
生活文化を創造する

経済的価値



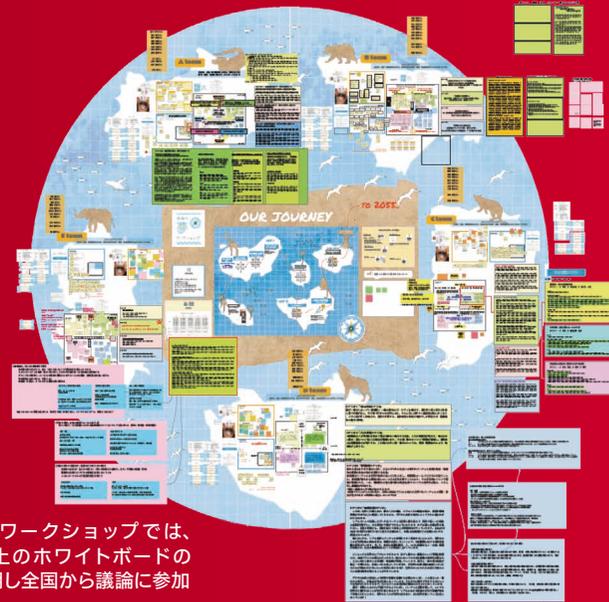
“将来の夢”の実
現を目指して、6
つのマテリアリ
ティ（重要課題）
に注力し、社会的
価値と経済的価
値の向上に取り
組んでいきます。

※ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン/社会の多様性、公平性、包摂性

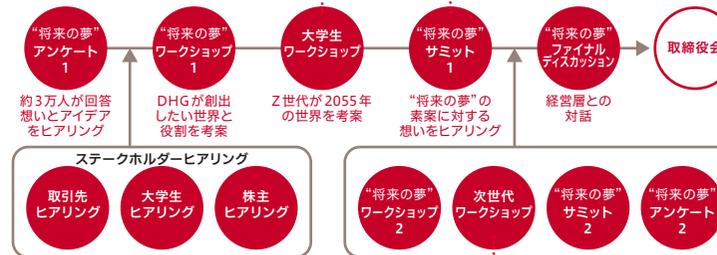
“将来の夢”を創るうえで 大切にすることは対話

“将来の夢”を策定するにあたり、最も重視したことは、ステークホルダーとの「対話」です。当社グループの全従業員を対象に約3万人に実施したアンケートや、多様性に富んだ選抜社員・大学生とのワークショップ、経営層など1,000人以上との対話を経て“将来の夢”を策定しました。

“将来の夢”ワークショップでは、オンライン上のホワイトボードのアプリを使用し全国から議論に参加



“将来の夢”策定までの各プロセス



大学生ワークショップ

遊びと日常の境界線が無くなり、遊びのなかから価値を見出す時代が来る。22名の大学生と共に4回のワークショップを通して、意見交換などを行いました。

ステークホルダーヒアリング

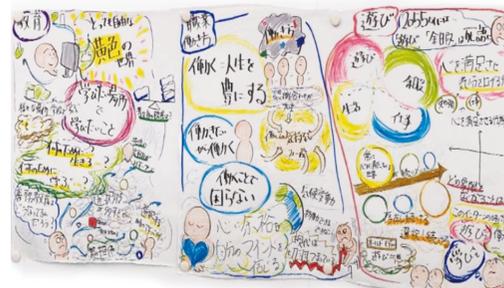
取引先: 大和ハウスさんは、ハウスメーカーの域を超えた建築会社。我々取引先にもソリューション提案をいただけるので、グループとしての強みを感じる。

Z世代: 今の決定層が変化を起せば今後40年の将来世代たちの人生をよい方向にできる。

株主: 大和ハウスが今後も成長できるとするならば、社会インフラになることだ。

※ヒアリング内容より一部抜粋

大学生ワークショップで描いた「2055年の世界」
(グラフィック:Heart of the Earth株式会社 齋藤悠衣)



“将来の夢”サミット1

私たちの子孫が自分らしく生きていける社会構造を目指して長い視点を持って仕事に取り組んでいきたい

公募によって参加した多様性に富む約1,000人の従業員が、パースの素案について、共感したところや刺激を受けたところなどについて意見交換をしました。

次世代ワークショップ

自分だけでなく周りの人も、世界みんなが幸せになれる社会へ。そのような社会を創っていききたい。

2055年を担う事業部門や職種が異なった若手社員(20代~30代)を中心に、私たちは2055年にどのような社会を創りたいかをシナリオプランニングの手法を使い徹底的に議論しました。